

第7回(H30年6月3日)

## 二小避難防災訓練 プログラム(案)

主催 東部第二分団自治会連合会

防災訓練作業内容/担当	場所	準備 内容	担当 自治会/協力先	9:30~	10:00~	11:00~	12:00~
6/1日13時 大鍋借り出し	大門中青少協倉庫	軽トラック	門前(野島・大野)	9:00~避難所受付開始			
6/2日15時 炊出し仕込み		トン汁具非常食準備、α米搬入	浅間町・松ヶ丘・門前・落合	9:30~避難所開設(開会式)			
6/3日(日)午前8時 開門		→→8:30 設営開始	連合会実行委員会・各自治会先発隊	9:40~「避難所とは?」講演			
1. 防災本部テント設営	体育館横校庭前	本部用テント 4張	門前・新川町		10:10~	演奏	
2. 避難所本部案内板設置	防災本部テント前	避難所本部立て看板	門前(第6回作成看板利用)		10:40~	体育館・校庭防災訓練開始	
3. 避難者受付用机・表札設置	体育館正門前入口	→→9:00 受付開始 各自治会別机・表札	門前・落合・新川町・松ヶ丘・浅間町・大門二丁目アパート・スポーツパック・第二公務員住宅 第三公務員住宅親和会・氷川台一丁目陸会・北・大門ハイツ			全11各自治会	
4. 体育館内ブルーシート設営	体育館床・校舎内トイレ	ブルーシート40枚、養生テープ 5巻					
5. 避難所本部内各種設営	体育館横校庭テント内	①長机×10・椅子×15以上 ②参加者受付名簿 ③名札テープ・ハンドマイクx2・文具1式・靴入ビニール袋(門前・野島・大野)、連絡用防災無線機x6台(東京都申請分を予定 事務局) ④防災訓練案内用シート、プログラム	門前商友会・新川町・実行委員会 自治会「防災訓練参加者票」にて受付(各自治会より受付係1名: 原則自治会長) {作成} 案内用シート:連合会事務局(野島)、プログラム:同(兵藤)				
<b>訓練次第</b>							
1. 開会宣言 挨拶	体育館舞台	東部第二分団自治会連合会 紫谷会長 東久留米市 並木市長・東久留米市立第二小学校 石居校長	→9:30 開会宣言 司会:連合会				
2. 来賓 挨拶							
3. 協力団体紹介	体育館舞台	市立第二小学校・東久留米消防署・田無警察署・市防災防犯課・市社会福祉協議会、市赤十字奉仕団・市消防第二分団・CPR友の会 大門中学校地区青少年健全育成協議 公益社団法人東村山法人会東久留米第一支部・防災まちづくりの会・かみ商事・おのの					
4. 「避難所とは?」講演	体育館内	パワーポイントPC・PJ一式	自由学園危機管理本部 萩田圭二先生	→→9:40~避難所とは?講演			
5	同			→→	10:10		
6	同						
7. AED操作・心肺蘇生法訓練	同	AED 4個、人口呼吸用人体 4体	東久留米消防署・CPR友の会	→→10:40~体育館/校庭に分れ訓練開始			
8. 三角布応急手当法訓練	同 中央	三角布 先着200枚(連合会)	東久留米消防署・CPR友の会		体育館内 AED・三角布など実技体験		
9. 避難所運営ケータイHUG説明	同	HUG説明パンフレット等	防災まちづくりの会				
10. エクストラバイン給水と放水訓練	校庭 中央	連合会エクストラバインx1・消防x1	東久留米消防署・連合会代表	→→10:40~校庭 各種訓練開始			
11. 消火器 訓練	同 プール前	消火器10本・消火用模擬火	東久留米消防署				
12. 煙体験 訓練	同 校舎前	煙体験テント	同		校庭内 各自希望する訓練を体験		
13. ミニ防火衣・写真撮影	同 校舎前	子供用防火衣	同				
14. 救急車・救急用具見学	同 中央	展示	同				
15. 仮設トイレ組立訓練	同 鉄棒前	連合会・浅間町/簡易トイレ	新川町・浅間町(野口)	→→→防災簡易トイレ組立 参考展示			
16. 停電時発電機操作訓練 夜間照明点灯訓練	同 鉄棒前 同 鉄棒前	発電機 2台 投光器 2セット	松ヶ丘x1・浅間町x1 松ヶ丘防災ボランティア隊	→→→発電機起動・停電夜間照明器点灯実習			
17. 緊急食炊き出し訓練	同 体育館横	自治会・青少協大型炊飯器・薪	浅間町・門前 →準備開始300食	→→→アルファ米炊き出し訓練 ⇒11:30~試食会			
18. トン汁炊き出し訓練	同 体育館横	各種具・紙食器・コップ・箸 アルファ米x6箱・お湯沸かし・ 煮炊飲料用水(ピュアウォーター使用)	松ヶ丘・落合 →準備開始 松ヶ丘・他 →薪着火準備 α米提供:市防災防犯課	→→→トン汁炊き出し配布訓練 ⇒11:30~試食会 →→→薪使用 湯沸かし訓練			
19. ポップコーン模擬店開設	同 体育館横	大型発電機24kW型x1(松ヶ丘)	提供:ウエルカムオオタ	→→→ポップコーン試食会 "無料配布します!"			
20. 防災防犯関連グッズ展示	同 校舎前	防災関連グッズ・パンフレット	田無警察署・かみ商事・おのの他				
講評 閉会宣言・挨拶	防災本部テント前	校庭お立ち台	東京消防庁東久留米消防署長 東部第二分団自治会連合会 小俣副会長	→→11:50~閉会式 12:30撤収完了			

東久留米市や第二小学校、消防署など防災関係機関に協力を要請し、地域事情に則した住民による大規模な実践的防災訓練を行う。

①5か所の一時避難場所に集合し、避難所の第二小学校まで避難する。この際に避難誘導者（ヘルメット・防災マッシュベスト着用）は、住民の安否確認を行い、無線機により本部と連絡を取りながら参加者を誘導する。

②受付で参加者に「ホイッスルライトホルダー」を配布し人数把握をする。

③体育館で、避難所開設訓練をする。会長挨拶、市長、第二小学校校長、消防署長など協力団体の紹介をする。

次いで、学校法人自由学園 危機管理本部 萩田圭二本部長による「避難所運営」の講演を開催する。会場の照明を消し、夜間を想定し暗闇での「ホイッスルライトホルダー」の点灯訓練をする。

次いで、1964年東京オリンピックの聖火ランナーとして参加した東久留米市在住で東久留米市体育協会会长の坂本和弥氏による講演会を開催する。

次いで、田無警察署生活安全課による振り込め詐欺防止講演会を開催する。

次いで、東久留米市立大門中学校吹奏楽部による被災地応援・オリンピック・パラリンピック気運醸成の演奏会を開催する。

③に引き続き、体育館で女性サポート隊による三角巾応急手当実演講習会を行う。参加者先着150名に三角巾を参加賞として配布する。

同時に、消防署・CPR友の会によるAED・心肺蘇生・応急救護法体験、防災まちづくりの会による避難所HUGの説明会、東久留米市社会福祉協議会による災害ボランティア活動紹介と募集を行う。

また、訓練会場にオリンピック・パラリンピックブースを設置して、オリンピック・パラリンピックの歴史に関する展示、オリンピック・パラリンピックを目指す東久留米市内のアスリートを紹介する展示、体育協会のオリンピック・パラリンピック気運醸成の取り組みの展示、大会ボランティアについての展示を行う。

校庭で、田無警察署による防災防犯啓発展示、消防署による初期消火訓練・煙体験、自治会員によるアルファ米・豚汁の炊き出し訓練、配膳訓練、仮設トイレ、発電機操作・夜間照明点灯訓練、防災倉庫点検を行う。

なお、当自治会連合会は防犯防災パトロールを定期的に実施しており、防災訓練において、パトロールについても案内する。

## 収支予算書

団体名 東部第二分団自治会連合会

(単位:円)

科目	収入内容	金額				
I 収入の部						
1 助成金収入 (1,000円未満切捨て)	地域の底力発展事業助成金	1,000,000				
2 その他収入	自己資金	23,763				
収入合計		1,023,763				
科 目	支出内容	単価	数量	消費税 (別税の場合) 割引等	金額	事業における活用方法 (書ききれない場合は別紙に記載してください)
II 支出の部						
1 助成対象経費						
(1) 謝礼金	防災講演会講師謝礼					
(2) 打合せ経費						
(3) 物品購入費	アルファ化米(50食入り) 三角きん 特大 無線機 無線機キャリングケース ホイッスルライトホルダー ヘルメット 防災メッシュベスト 豚汁食材費一式(500人分)					
(4) 印刷経費	チラシ制作代金チラシ チラシ印刷費(8000枚) ポスター制作代金 ポスター印刷費(300枚) 展示パネルA2サイズ アルボリ板・ シート加工・フレーム付き 展示パネルA2サイズ デザイン 制作代金					
(5) 役務費						
(6) 委託料						
(7) レンタル・ リース料						
(8) 工事費						
2 助成対象外経費 (その他経費)						
					小計②	0
支出合計				小計①+②	1,023,763	
収支差額					0	

※ 助成対象経費については、支出内容ごとに事業における活用方法を必ず記入してください。

※ 5万円を超える経費は、見積書等の金額の根拠が分かるものを添付してください。